

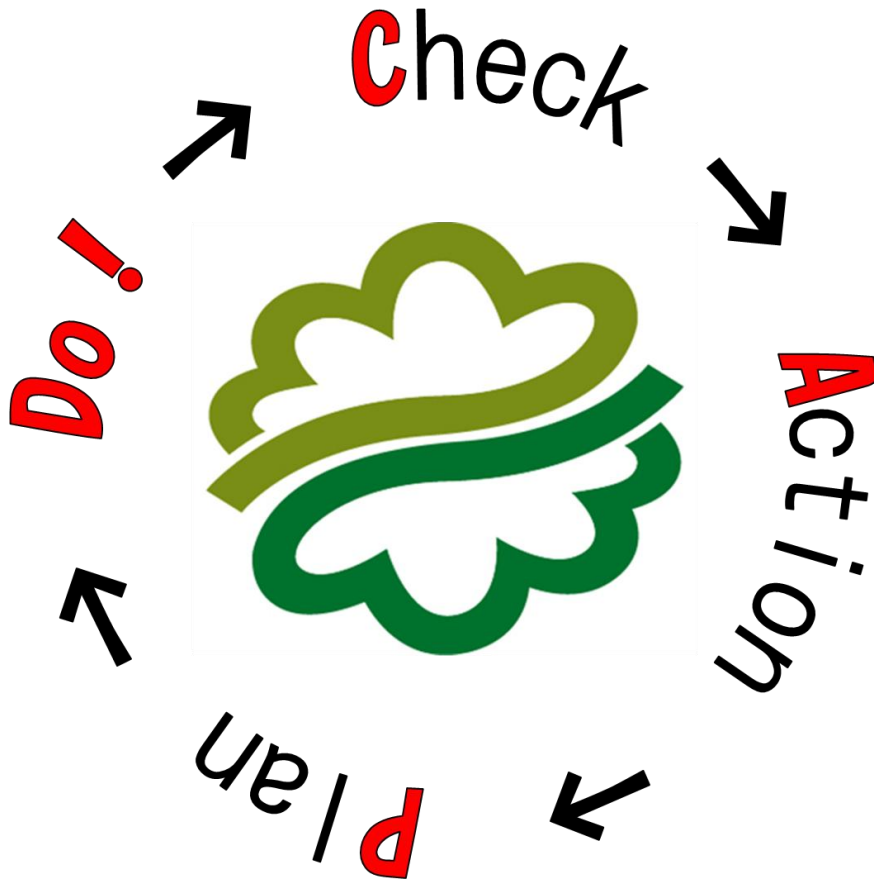
菊川市行財政改革

キャップドゥ

菊川市CAPDo!

『菊川市新行財政改革推進方針』 実施計画

- 平成 28 年度取組内容 -



【前期計画】平成 28 年度～平成 29 年度

平成 28 年 7 月

静岡県菊川市

1 菊川市CAPDo!実施メニュー、担当部署、目標及び達成状況

目的	視点	分類	No.	実施メニュー	事業	即効度	難易度	担当部	担当課	H28年度に達成すべき目標	実績(%)	達成区分	H29年度に達成すべき目標	頁
健全な行政 財政基盤 の確立	1健全行政 マネジメント	効率的な行政運営	1	職員定員の適正化と人材の育成	継続	◎	A	総務部	総務課	・平成29年4月1日現在 316人			・平成30年4月1日現在 316人	2
			2	新業務棚卸表の確立	新規	○	A	企画財政部	企画政策課	・新業務棚卸表制度を構築			・新業務棚卸表制度の運用	3
		積極的な歳入確保	3	未収金対策の研究	新規	○	S	企画財政部	調整室	・未収金対策組織を確立 ・未収金額を前年度比9%改善			・未収金額を前年度比9%改善	4
			4	税外収入の研究	新規	○	A	企画財政部	企画政策課	・ネーミングライツを含む新たな広告収入 300千円 ・クラウドファンディング事業案の決定			・ネーミングライツを含む新たな広告収入 300千円 ・クラウドファンディング事業の実施1件	5
			5	新たな収納方法の拡充	新規	△	A	企画財政部	税務課	・新たな収納方法の構築のための基盤整備			・新たな収納方法の構築	6
			6	ふるさと納税制度の活用	新規	◎	B	建設経済部	商工観光課	・寄付金総額 5,000万円以上			・寄付金総額 7,500万円以上	7
		公営企業会計の 健全化と事業会計 の安定化	7	国民健康保険特別会計の安定化	新規	◎	B	生活環境部	市民課	・ジェネリック医薬品普及率 40% ⇒ 67% ・特定健診受診率 38%			・ジェネリック医薬品普及率 45% ⇒ 70% ・特定健診受診率 40%	8
			8	下水道経営の健全化	新規	◎	B	生活環境部	下水道課	・汚水処理原価に占める使用料単価の割合 82.9%以上			・汚水処理原価に占める使用料単価の割合 85.0%以上	9
			9	水道経営の健全化	継続	◎	A	生活環境部	水道課	・水道事業会計純利益 10,000千円 ⇒ 40,000千円			・水道事業会計純利益 20,000千円 ⇒ 60,000千円	10
			10	病院経営の健全化	継続	○	S	菊川病院	経営企画課	・病院事業会計 経常収支比率 100%			・病院事業会計 経常収支比率 100%	11
		財政基盤の強化	11	補助金の見直し	継続	○	B	企画財政部	企画政策課	・特徴や性質に合った補助金の分類			・適正な補助金等の見直し実施	12
			12	使用料等の適正化	継続	◎	B	企画財政部	企画政策課	・使用料等の適正な料金設定			・使用料等の適正な料金設定(継続実施)	13
			13	実質公債費比率・将来負担比率の適正化	継続	◎	A	企画財政部	財政課	・実質公債費比率 12.5% ⇒ 12.0%(H26-28の3か年平均) ・将来負担比率 57.0% ⇒ 54.0%(H28決算)			・実質公債費比率 12.0% ⇒ 11.5%(H27-29の3か年平均) ・将来負担比率 52.0% ⇒ 47.5%(H29決算)	14
	2公共施設 マネジメント	公有財産の 最適管理	14	公共施設等総合管理計画の推進	新規	○	S	企画財政部	財政課	・公共施設等総合管理計画の完成			・分野ごとの取組計画(仮称)を作成	15
			15	公共施設の有効利用	新規	○	A	建設経済部	都市計画課	・平成29年3月末現在 入居率 90%以上			・平成30年3月末現在 入居率 92%以上	16
			16	遊休市有地の有効利用	新規	◎	B	企画財政部	財政課	・柳町住宅用地の利用方法を決定			・旧消防署跡地の利用方法を決定	17

【事業】⇒継続:6事業 新規:10事業
 継続:第2次集中改革プラン後期計画からの継続事業 新規:CAPDo! 新規事業(第2次集中改革プラン後期計画から着目点を変更した事業を含む)

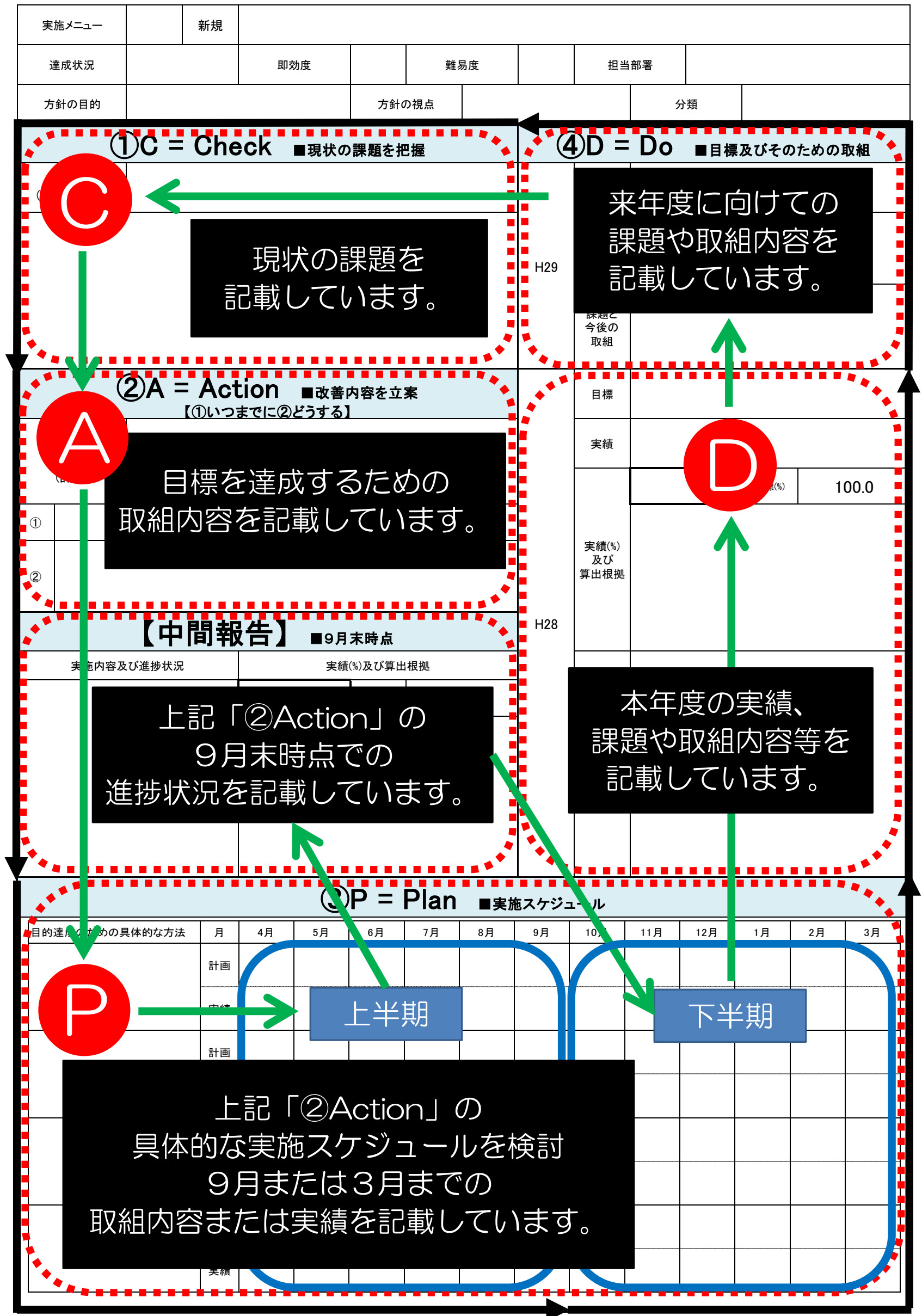
【即効度】 短期間で集中的に改革する度合い。⇒ ◎:8事業 ○:7事業 △:1事業
 ◎:即座に実施 ○:組織や制度を検討後に実施 △:数年後の実施に向けて準備

【難易度】 改革・改善の難しさの度合い。⇒ S:3事業 A:7事業 B:6事業
 S:手法を刷新するなど根本的な改善が必要 A:手法に大幅な改善や工夫が必要 B:手法に若干の改善や工夫が必要

【即効度】 経済性・効率性・有効性・必要性・先進性等を勘案した効果の表れる時期。◎:すぐに効果あり。○:数年後に効果あり。△:将来的に効果あり。

2 CAPDo！実施計画 個別進捗状況

この資料の見方は下記のとおりです。



実施メニュー	1	継続	職員定員の適正化と人材の育成									
達成状況	-	即効度	◎	難易度	A	担当部署	総務課(総務部)					
方針の目的	健全な行財政基盤の確立		方針の視点	1 健全行政マネジメント		分類	効率的な行政運営					

①C = Check ■現状の課題を把握	④D = Do ■目標及びそのための取組
-----------------------------	-----------------------------

現状数値 (計画策定時) 平成27年4月1日現在 職員数318人 効率的な行政運営を目指し、定員適正化計画(定員管理計画)に基づき、民間委託の推進、指定管理者制度の活用、組織機構の見直しなどにより職員数の適正化を図ってきた。しかし、その一方で、農業委員会転用事務や社会福祉法人監査事務などの権限移譲、人口減少対策や空き家対策といった新たな行政課題、子育て支援や高齢者福祉分野の多様な市民ニーズなど、市行政が担うべき役割は拡大しており、必要とされる人員も増加傾向にある。 平成28年4月1日現在の職員数は317人となっている。 注1)職員数は、消防・病院部門の職員及び再任用短時間勤務職員を除いた人数。 注2)平成27年度に「菊川市定員管理計画(H28-32)」を策定。	目標 平成30年4月1日現在 316人 取組内容 ・組織機構改革の実施 ・多様な任用形態の活用 ・職員研修による人材育成 課題と今後の取組
---	--

②A = Action ■改善内容を立案 【①いつまでに②どうする】	目標 平成29年4月1日現在 316人
--	---------------------

目標達成の取組内容(計画) ・組織機構改革の実施 ・多様な任用形態の活用 ・職員研修による人材育成	実績 <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 70%;"></td> <td style="width: 10%;">目標(%)</td> <td style="width: 20%; text-align: center;">100.0</td> </tr> </table>		目標(%)	100.0
	目標(%)	100.0		
① 平成29年3月末までに	実績(%)及び算出根拠			
② 定員管理計画(以下「計画」という。)に則った職員配置を行う。育児休業取得者が計画策定時の想定を大幅に上回るなどの事態が生じた場合には、計画自体の見直しを行う。				

【中間報告】 ■9月末時点	H28
----------------------	-----

実施内容及び進捗状況	実績(%)及び算出根拠		
		目標(%)	50.0
実施内容及び進捗状況		実績(%)及び算出根拠	

③P = Plan ■実施スケジュール	H28
----------------------------	-----

目的達成のための具体的な方法	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
組織機構改革の実施	計画		実施方法調整	部長会説明	調整作業			◎政策会議	細部調整			◎確認議会説明	
	実績												
多様な任用形態の活用	計画			再任用希望者把握	当年度非常勤職員等の配置調整			再任用者等配置調整			★再任用選考委員会		◎再任用者等配置確定
	実績												
職員研修による人材育成	計画	3市広域研修計画に基づいた3市広域研修、外部研修、選抜指名研修の実施											
	実績												
職員の新規採用等人事管理	計画			退職希望者把握	★採用試験1次	★採用試験2次	★採用試験3次	◎採用者内定	翌年度人事配置調整				◎職員配置確定
	実績												

実施メニュー	2	継続	新業務棚卸表の確立										
達成状況	-		即効度	○	難易度	A	担当部署	企画政策課(企画財政部)					
方針の目的	健全な行財政基盤の確立			方針の視点	1 健全行政マネジメント			分類	効率的な行政運営				

①C = Check ■現状の課題を把握	④D = Do ■目標及びそのための取組
-----------------------------	-----------------------------

現状数値(計画策定時) - 業務棚卸表は総合計画の進捗管理表として活用されてきたが、第2次総合計画の策定に合わせ業務棚卸表の運用について再考する必要がある。行政評価の手法、業務棚卸表の様式等を見直し、業務棚卸表の役割を明確化して、総合計画との整合を図り、効果的・効率的な行政運営を構築していく。	目標 新業務棚卸表制度の運用 取組内容 新業務棚卸表制度の運用開始 課題と今後の取組
--	--

②A = Action ■改善内容を立案 【①いつまでに②どうする】	③P = Plan ■実施スケジュール
--	----------------------------

目標達成の取組内容(計画) ・行政評価手法の研究 ・新業務棚卸表制度の位置づけの明確化等協議	目標 新業務棚卸表制度を構築 実績 実績(%)及び算出根拠 100.0
① 平成29年3月末までに	H28
② 新業務棚卸表の手法及び様式を決定させ、全庁に説明を行う	

【中間報告】 ■9月末時点	
----------------------	--

実施内容及び進捗状況 実績(%)及び算出根拠 60.0	実績(%)及び算出根拠 100.0
実施内容及び進捗状況	実施内容及び進捗状況

③P = Plan ■実施スケジュール	
----------------------------	--

目的達成のための具体的な方法	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
行政評価手法・運用方法・様式の決定	計画	担当者打合せ	課内打合せ・様式決定	----->◎									
	実績	★											
課長会議で全庁的に概要説明	計画				全庁説明(課長会議)								
	実績												
各課へ説明	計画				各課説明	—————>							
	実績												
導入準備	計画										準備	—————>	
	実績												

実施メニュー	3	新規	未収金対策の研究										
達成状況	-	即効度	○	難易度	S	担当部署	調整室(企画財政部)						
方針の目的	健全な行財政基盤の確立		方針の視点	1 健全行政マネジメント		分類	積極的な歳入確保						

①C = Check ■現状の課題を把握	④D = Do ■目標及びそのための取組
-----------------------------	-----------------------------

現状数値 (計画策定時) 未収金額前年度比8.31%の改善 ※平成25と26年度決算の比較	目標 未収金額を前年度比9%改善
集中改革プランの取り組みによって、未収金対策について一定の成果を得た。しかし、専門知識に乏しい各担当部署が個別に対応しても、これ以上の徴収率向上は望めず、限界がある。また、現在は「菊川市徴収対策会議」を年2回開催して情報共有を行っているものの、徴収知識のレベルの統一は十分に図られていない。	取組内容 未収金における課題を整理し、対応実施
注1)未収金対策として扱う債権は、市民税(個人・法人)、固定資産税(都市計画税含む)、国民健康保険税、軽自動車税、水道料金、下水道使用料、平尾下水道使用料、介護保険料、保育料、道水路占用料、市営住宅家賃、給食費、病院医療費。 注2)未収金額は、滞納繰越分のみとする。	課題と今後の取組

②A = Action ■改善内容を立案 【①いつまでに②どうする】	
--	--

目標達成の取組内容(計画) ・「菊川市徴収対策会議」を含めた未収金対策組織を確立 ・未収金対策について検討し、次年度に反映	目標 ・未収金対策組織を確立 ・未収金額を前年度比9%改善			
① 平成29年3月までに 未収金額を前年度比9%改善	実績			
② 未収金対策組織の確立のため、徴収対策会議・徴収対策ワーキンググループ要綱作成する。組織確立後、税務課徴収対策係と連携しながら徴収対策会議・徴収対策ワーキンググループ・徴収事務実態調査の実施の中で、各債権最低1件何らかの事務改善を行う。	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 70%;"></td> <td style="width: 10%;">目標(%)</td> <td style="width: 20%; text-align: center;">100.0</td> </tr> </table>		目標(%)	100.0
	目標(%)	100.0		
【中間報告】 ■9月末時点	実績(%)及び算出根拠			
<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 70%;">実施内容及び進捗状況</td> <td style="width: 10%;">目標(%)</td> <td style="width: 20%; text-align: center;">50.0</td> </tr> </table>	実施内容及び進捗状況	目標(%)	50.0	実施内容及び進捗状況
実施内容及び進捗状況	目標(%)	50.0		

③P = Plan ■実施スケジュール	
----------------------------	--

目的達成のための具体的な方法	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
徴収対策会議・徴収対策ワーキンググループ要綱作成	計画	作成作業	内容調整	完成									
	実績												
徴収対策会議の開催	計画	★開催	開催準備	★開催			開催準備	★開催				開催準備	★開催
	実績												
徴収事務実態調査の実施	計画		日程調整・★実施	★実施									
	実績												
事務改善案検討・提案・協議・実施	計画			実施	徴収事務実態調査の結果をもとに、事務局・徴収対策WG等で改善案を検討し、担当課にて改善を実施。								実績報告
	実績												

実施メニュー	4	新規	税外収入の研究										
達成状況	-	即効度	○	難易度	A	担当部署	企画政策課(企画財政部)						
方針の目的	健全な行財政基盤の確立		方針の視点	1 健全行政マネジメント		分類	積極的な歳入確保						

①C = Check ■現状の課題を把握	④D = Do ■目標及びそのための取組
-----------------------------	-----------------------------

現状数値(計画策定時) - 広告事業及びネーミングライツ事業等により事業収入は着実に伸びているが、対象施設等の洗い出し等が未熟な部分もあり収入増につながる可能性が残されている。そのため、担当課と協議し、また、新たな財源確保の手法について検討する必要がある。	H29 目標 ・ネーミングライツを含む新たな広告収入300千円 ・クラウドファンディング事業の実施1件 取組内容 ・ネーミングライツ等広告事業の実施 ・クラウドファンディング事業の実施 課題と今後の取組
---	--

②A = Action ■改善内容を立案 【①いつまでに②どうする】	③P = Plan ■実施スケジュール
--	----------------------------

目標達成の取組内容(計画) ・ネーミングライツ等広告事業の実施 ・クラウドファンディングの研究、制度の構築、対象事業の決定	H28 目標 ・ネーミングライツを含む新たな広告収入300千円 ・クラウドファンディング事業案の決定 実績 <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td>実績(%)及び算出根拠</td> <td>目標(%)</td> <td>100.0</td> </tr> </table>	実績(%)及び算出根拠	目標(%)	100.0
実績(%)及び算出根拠	目標(%)	100.0		
① 平成29年3月末までに				
② ネーミングライツを含む新たな広告収入を300千円以上とする。クラウドファンディング事業案を決定させる。				

【中間報告】 ■9月末時点	
----------------------	--

実施内容及び進捗状況	実績(%)及び算出根拠		
	目標(%)	50.0	
実施内容及び進捗状況			

③P = Plan ■実施スケジュール	
----------------------------	--

目的達成のための具体的な方法	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
広告事業の実施	計画			図書館 バッグ 広告検討	-----	-----	★ 図書館/バッグ 広告募集(図書館)	成人式のしおり 広告募集 (社会教育課)			納税通知用封筒 広告募集 (税務課)		
	実績												
ネーミングライツ事業の実施	計画	係内検討・調整	-----	各課との 協議	選定委員 会準備	選定委員 会開催	契約	看板設置 等					
	実績												
職員提案制度における新たな財源確保手段の確立	計画	職員提案 推進月間			事務改善 委員会審 査	各課実施 依頼							効果・取 組内容の 検証
	実績												
クラウドファンディング事業の検討	計画	職員提案 で事業を 募集			事務改善 委員会審 査	実施検討 する事業 の決定	事業実施 方法の検 討	-----	◎ 方法決定	要綱作成	-----	-----	◎ 要綱完成
	実績												

実施メニュー	5	新規	新たな収納方法の拡充										
達成状況	-		即効度	△	難易度	A	担当部署	税務課(企画財政部)					
方針の目的	健全な行財政基盤の確立			方針の視点	1 健全行政マネジメント			分類	積極的な歳入確保				

①C = Check ■現状の課題を把握	④D = Do ■目標及びそのための取組
-----------------------------	-----------------------------

現状数値(計画策定時) - 市民から市税等の支払いに対して、クレジットカードが可能か問合せがあるものの対応できていないことや、インターネットバンキングやモバイルバンキングに対応するペイジー支払いを導入することで、納付機会の拡充と市民サービスの向上を図る必要がある。	H29 目標 新たな収納方法の構築 取組内容 システム改修、業者契約、納付書変更等の準備完了 課題と今後の取組
---	--

②A = Action ■改善内容を立案 【①いつまでに②どうする】	③P = Plan ■実施スケジュール
--	----------------------------

目標達成の取組内容(計画) ・対象とする税等の決定 ・運用方法の決定	H28 目標 新たな収納方法の構築のための基盤整備 実績 <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 70%;"></td> <td style="width: 10%;">目標(%)</td> <td style="width: 20%;">100.0</td> </tr> </table> 実績(%)及び算出根拠		目標(%)	100.0
	目標(%)	100.0		
① 平成28年10月末までに	実施内容及び進捗状況 <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 70%;"></td> <td style="width: 10%;">目標(%)</td> <td style="width: 20%;">50.0</td> </tr> </table> 実施内容及び進捗状況		目標(%)	50.0
		目標(%)	50.0	
② 市税等の支払い方法にクレジットカードでの支払方法の導入を検討する。検討の結果、可能となった場合にはH29当初予算に費用を計上する。また、スマートフォンやATMから支払うことができるペイジー収納サービスについて、費用対効果等を総合的に考慮し、導入に向けた研究をする。				

【中間報告】 ■9月末時点	
----------------------	--

① 平成28年10月末までに ② 市税等の支払い方法にクレジットカードでの支払方法の導入を検討する。検討の結果、可能となった場合にはH29当初予算に費用を計上する。また、スマートフォンやATMから支払うことができるペイジー収納サービスについて、費用対効果等を総合的に考慮し、導入に向けた研究をする。	H28 目標 新たな収納方法の構築のための基盤整備 実績 <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 70%;"></td> <td style="width: 10%;">目標(%)</td> <td style="width: 20%;">100.0</td> </tr> </table> 実績(%)及び算出根拠		目標(%)	100.0
	目標(%)	100.0		
実施内容及び進捗状況 <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 70%;"></td> <td style="width: 10%;">目標(%)</td> <td style="width: 20%;">50.0</td> </tr> </table> 実施内容及び進捗状況		目標(%)	50.0	実施内容及び進捗状況
	目標(%)	50.0		

③P = Plan ■実施スケジュール	
----------------------------	--

目的達成のための具体的な方法	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
クレジットに係るのシステム対応	計画		現状確認	----->	対応確認	----->	改修見積	----->	予算要求				
	実績												
クレジットに係る関係課等との打合せ	計画		検討	-----★	-----★	-----★	-----★	◎					
	実績												
ペイジーに係る検討	計画		現状確認	----->	対応確認	----->	検討	----->					◎
	実績												
	計画												
	実績												

実施メニュー	6	新規	ふるさと納税制度の活用										
達成状況	-	即効度	◎	難易度	B	担当部署	商工観光課(建設経済部)						
方針の目的	健全な行財政基盤の確立		方針の視点	1 健全行政マネジメント		分類	積極的な歳入確保						

①C = Check ■現状の課題を把握	④D = Do ■目標及びそのための取組
-----------------------------	-----------------------------

現状数値 (計画策定時) 633万円 ※平成26年度決算 ふるさと納税に関する事務は平成27年度まで総務課が行ってきたが、今後は全国に向けた菊川市のPRと市内産業の活性化を図る必要がある。そのため、制度の活用について更に検討の必要がある。 平成27年度のふるさと納税寄附金額は3,304万1千円となっている。	目標 寄附金総額 7,500万円以上 取組内容 ・魅力ある贈答品の見直しと拡充 ・贈答品協力企業、業者の募集 課題と今後の取組
--	---

②A = Action ■改善内容を立案 【①いつまでに②どうする】	③P = Plan ■実施スケジュール
--	----------------------------

目標達成の取組内容(計画) ・魅力ある贈答品の見直しと拡充 ・贈答品協力企業、業者の募集	目標 寄附金総額 5,000万円以上 実績 実績(%)及び算出根拠 <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 60%;"></td> <td style="width: 20%; text-align: center;">目標(%)</td> <td style="width: 20%; text-align: center;">100.0</td> </tr> </table>		目標(%)	100.0
	目標(%)	100.0		
① 平成29年3月末日までに				
② 菊川市ふるさと納税制度を周知し、より多くの寄附を募るため、PRパンフレットを2,000部以上配布する。 また、市内産業の活性化を図るため、寄附者へのお礼の品を68品目から100品目以上へ拡充する。				

【中間報告】 ■9月末時点	
----------------------	--

実施内容及び進捗状況		実績(%)	50.0

③P = Plan ■実施スケジュール	
----------------------------	--

目的達成のための具体的な方法	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
菊川市ふるさと納税PRパンフレットの作成、配布	計画	作成	----->	完成	配布	----->							
	実績												
魅力ある返礼品の調査・研究	計画	調査・研究	----->										
	実績												
市内事業者等への提案・調整	計画	提案・調整	----->										
	実績												
返礼品の拡充	計画			拡充 (70品目) ★			拡充 (80品目) ★			拡充 (90品目) ★			拡充 (100品目) ★
	実績												

実施メニュー	7	新規	国民健康保険特別会計の安定化										
達成状況	-	即効度	◎	難易度	B	担当部署	市民課(生活環境部)						
方針の目的	健全な行財政基盤の確立		方針の視点	1 健全行政マネジメント		分類	公営企業会計の健全化と事業会計の安定化						

①C = Check ■現状の課題を把握	④D = Do ■目標及びそのための取組
-----------------------------	-----------------------------

<p>現状数値 (計画策定時)</p> <ul style="list-style-type: none"> ジェネリック医薬品普及率39.2% ※平成27年11月調剤分まで 特定健診受診率30.4% ※平成27年12月健診まで <p>国民健康保険被保険者の医療費は年々増加傾向にあり、国民健康保険特別会計を圧迫している。 平成27年度(3月調剤分まで)のジェネリック医薬品普及率は65.3%、また、平成27年度(3月健診まで)の特定健診受診率は32.3%となっている。</p>	<p>目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ジェネリック医薬品普及率 45%⇒70% 特定健診受診率 40% <p>取組内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ジェネリックの差額通知発送 保険証発送通知にジェネリックに関するチラシを同封 特定健診受診に関する啓発活動 <p>課題と今後の取組</p>
---	---

②A = Action ■改善内容を立案 【①いつまでに②どうする】	③P = Plan ■実施スケジュール
--	----------------------------

<p>目標達成の取組内容 (計画)</p> <ul style="list-style-type: none"> ジェネリックの差額通知発送 保険証発送通知にジェネリックに関するチラシを同封 特定健診受診に関する啓発活動 	<p>目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ジェネリック医薬品普及率 40%⇒67% 特定健診受診率 38% <p>実績</p>
① 平成29年3月末までに	実績(%)及び算出根拠
② ジェネリックへの切り替え促進対策、特定健診受診に関する啓発活動を実施し、ジェネリック普及率を67%以上、特定健診受診率を38%以上とする。	100.0

【中間報告】 ■9月末時点	
----------------------	--

実施内容及び進捗状況	実績(%)及び算出根拠
	47.0
	100.0

③P = Plan ■実施スケジュール	
----------------------------	--

目的達成のための具体的な方法	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
・ジェネリック すこやかワーキング等での周知	計画			資料等収集	周知・配布						資料等収集	周知・配布	
	実績												
・ジェネリック 差額通知の発送 保険証発送通知へのチラシ同封 特定健診チラシへの医療費抑制 記事の掲載	計画		チラシ等作成	チラシ配架 依頼・差額 通知作成	→	差額通知発送				差額通知作成	→	差額通知発送	
	実績												
・特定健診 健康づくり推進委員、JA、医療機 関等への周知 小笠医師会との連携 その他周知活動	計画	推進委員・ 医師会への 説明	チラシ等作 成	チラシ配架 依頼				医師会等へ の依頼・車 両広報		医師会等へ の依頼	→	車両広報	
	実績												
・特定健診 集団健診の実施 総合検診との同時実施	計画	健康づくり 課との協議	総合検診通 知への掲載	申込受付			→	集団健診通 知発送	申込まとめ	集団健診・ 総合検診実 施	→		
	実績												

実施メニュー	8	新規	下水道経営の健全化										
達成状況	-	即効度	◎	難易度	B	担当部署	下水道課(生活環境部)						
方針の目的	健全な行財政基盤の確立		方針の視点	1 健全行政マネジメント			分類	公営企業会計の健全化と事業会計の安定化					

①C = Check ■現状の課題を把握	④D = Do ■目標及びそのための取組
-----------------------------	-----------------------------

現状数値 (計画策定時) 汚水処理原価に占める使用料単価の割合: 79.5% ※平成26年度決算 下水道事業は、平成10年に事業着手をしたが、整備面積が全体計画の36.3%程度となっており、面整備の継続実施が必要がある。 平成26年度の汚水処理原価に占める使用料単価の割合は、使用料単価に対し汚水処理原価が上回っている。	目標 汚水処理原価に占める使用料単価の割合 85.0%以上 取組内容 ・長寿命化計画に基づき適正な修繕等を実施 ・アクションプランに基づき約10haの面整備 ・未接続世帯等に対し年間3回以上の戸別訪問 課題と今後の取組
---	--

②A = Action ■改善内容を立案 【①いつまでに②どうする】	③P = Plan ■実施スケジュール
--	----------------------------

目標達成の取組内容(計画) ・長寿命化計画に基づき適正な修繕等を実施 ・アクションプランを策定、約10haの面整備 ・未接続世帯等に対し年間3回以上の戸別訪問 ① 平成29年3月末までに ② 汚水処理の10年程度での概成を目指すためのアクションプランを策定する。また、供用開始1・2年目未接続世帯に対する戸別訪問を延べ3回以上実施する。	目標 汚水処理原価に占める使用料単価の割合 82.9%以上 実績 <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 60%;"></td> <td style="width: 20%; text-align: center;">目標(%)</td> <td style="width: 20%; text-align: center;">100.0</td> </tr> </table> 実績(%)及び算出根拠		目標(%)	100.0
	目標(%)	100.0		

【中間報告】 ■9月末時点	
----------------------	--

実施内容及び進捗状況 <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 60%;"></td> <td style="width: 20%; text-align: center;">実績(%)</td> <td style="width: 20%; text-align: center;">40.0</td> </tr> </table>		実績(%)	40.0	実績(%)及び算出根拠 実施内容及び進捗状況
	実績(%)	40.0		

③P = Plan ■実施スケジュール	
----------------------------	--

目的達成のための具体的な方法	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
アクションプラン策定	計画				案作成	→	県協議	→	→	→	→	→	★策定
	実績												
接続促進(供用開始1・2年目未接続世帯への戸別訪問及び通知)	計画		早期接続 お願い通知	1年目	→		2年目	→	1年目	→	集中取組	→	
	実績												
菊川浄化センター定期点検及び修繕	計画		消泡水ポンプ 自家発電電池 発注	酸素発生 発注	→	→	→	→	→	完了			
	実績												
	計画												
	実績												

実施メニュー	9	継続	水道経営の健全化										
達成状況	-	即効度	◎	難易度	A	担当部署	水道課(生活環境部)						
方針の目的	健全な行財政基盤の確立		方針の視点	1 健全行政マネジメント			分類	公営企業会計の健全化と事業会計の安定化					

①C = Check ■現状の課題を把握	④D = Do ■目標及びそのための取組
-----------------------------	-----------------------------

現状数値 (計画策定時) 水道事業会計純利益:2,377千円 ※平成26年度決算 公営企業会計の主な収入である給水収益が減少している(年間給水量の減少)。	目標 水道事業会計純利益 20,000千円 ⇒ 60,000千円
	H29 取組内容 ・給水収益の増加(収納率98%以上) ・業務工程管理の徹底と水道施設管理費の削減 課題と今後の取組

②A = Action ■改善内容を立案 【①いつまでに②どうする】	③D = Do ■目標及びそのための取組
--	-----------------------------

目標達成の取組内容(計画) ・給水収益の増加(収納率95%以上) ・業務工程管理の徹底と水道施設管理費の削減 ・漏水調査委託の実施	目標 水道事業会計純利益 10,000千円 ⇒ 40,000千円		
① 平成29年3月までに ② 水道料金に対する収納率98%を維持する。 また、年間有収率向上のため、具体的かつ効果的な漏水改善対策を講じる。	H28 実績 実績(%)及び算出根拠 <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>目標(%)</td> <td>100.0</td> </tr> </table>	目標(%)	100.0
目標(%)	100.0		

【中間報告】 ■9月末時点	
----------------------	--

実施内容及び進捗状況	実績(%)及び算出根拠		
	目標(%)	40.0	
実施内容及び進捗状況			

③P = Plan ■実施スケジュール	
----------------------------	--

目的達成のための具体的な方法	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
外部委託業者との連携	計画	業務報告会実施	業務報告会実施	業務報告会実施	業務報告会実施	業務報告会実施	業務報告会実施	業務報告会実施	業務報告会実施	業務報告会実施	業務報告会実施	業務報告会実施	業務報告会実施
	実績												
コンビニ利用による料金収納	計画	700件 4,000千円	700件 4,000千円	700件 4,000千円	700件 4,000千円	700件 4,000千円	700件 4,000千円	700件 4,000千円	700件 4,000千円	700件 4,000千円	700件 4,000千円	700件 4,000千円	700件 4,000千円
	実績												
老朽管の改良	計画	設計・積算 発注	----->				工事施行	----->				検査・支払	検査・支払
	実績												
漏水調査の実施	計画	調査手法の確認	----->			調査手法の確定	調査実施	----->		調査結果のまとめ	当初予算反映		
	実績												

実施メニュー	10	継続	病院経営の健全化										
達成状況	-	即効度	○	難易度	S	担当部署	経営企画課(菊川病院)						
方針の目的	健全な行財政基盤の確立		方針の視点	1 健全行政マネジメント		分類	公営企業会計の健全化と事業会計の安定化						

①C = Check ■現状の課題を把握	④D = Do ■目標及びそのための取組
-----------------------------	-----------------------------

現状数値 (計画策定時) 経常収支比率:99.4% ※平成26年度決算 「菊川市立総合病院第二次中期計画」を策定し、目標達成に向けて業務改善を推進しているが、平成26年度は消費税率改定により費用が増加している一方、診療報酬は平成26・28年度と2期連続で実質マイナス改定となり、依然として厳しい運営が続いている。 職員ができる改善を進めてはいるものの、経常収支比率は平成26年度は99.4%、平成27年度は98.2%の状況となっている。	H29 目標 病院事業会計 経常収支比率 100% 取組内容 目標管理制度の実践 課題と今後の取組
---	--

②A = Action ■改善内容を立案 【①いつまでに②どうする】	
--	--

目標達成の取組内容(計画) ・目標管理制度の実践 ・新公立病院改革プランを策定 ① 平成29年3月までに ② バランス・スコアカードを活用した目標管理制度により「菊川市立総合病院第二次中期計画」を推進するとともに、平成29年度から平成32年度までを期間とした「新公立病院改革プラン(第三次中期計画)」を策定する。	H28 目標 病院事業会計 経常収支比率 100% 実績 <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>実績(%)及び算出根拠</td> <td>目標(%)</td> <td>100.0</td> </tr> </table>	実績(%)及び算出根拠	目標(%)	100.0
実績(%)及び算出根拠	目標(%)	100.0		

【中間報告】 ■9月末時点	
----------------------	--

実施内容及び進捗状況 <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>実績(%)及び算出根拠</td> <td>目標(%)</td> <td>50.0</td> </tr> </table>	実績(%)及び算出根拠	目標(%)	50.0	H28 実績(%)及び算出根拠 実施内容及び進捗状況
実績(%)及び算出根拠	目標(%)	50.0		

③P = Plan ■実施スケジュール	
----------------------------	--

目的達成のための具体的な方法	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
院長方針説明会の開催と診療部ヒアリングの実施	計画		★ 方針説明	診療部 ヒアリング	→				★ 方針説明	診療部 ヒアリング	→		
	実績												
BSCによる目標管理の推進(アクションプラン「AP」の推進)	計画	AP決定	(実行) 発表会開催		(進捗管理)			中間ヒア		(進捗管理)		期末ヒア 発表会開催	次年度 AP検討
	実績												
新公立病院改革プラン(第三次中期計画)の策定	計画	事業着手	現状分析	→	→	戦略策定	→	→	素案完成	調整	→	計画完成	次年度 AP検討
	実績												
中期計画事業評価委員会の開催	計画				★				★		★		★
	実績												

実施メニュー	11	継続	補助金の見直し										
達成状況	-		即効度	○	難易度	B	担当部署	企画政策課(企画財政部)					
方針の目的	健全な行財政基盤の確立			方針の視点	1 健全行政マネジメント			分類	財政基盤の強化				

①C = Check ■現状の課題を把握	④D = Do ■目標及びそのための取組
-----------------------------	-----------------------------

現状数値 (計画策定時) - 補助金については、「補助金等の見直し指針」により公共的、財政的及び客観的な視点により見直しを実施しているが、市民ニーズの多様化に伴い多種多様な補助金が創設されるため、補助金の特性や性質に適した見直しを行う必要がある。	目標 適正な補助金等の見直し実施 H29 取組内容 ・評価シートによる内部評価、外部評価 ・補助内容の改正に伴う関係条例等の整備 課題と今後の取組
---	---

②A = Action ■改善内容を立案 【①いつまでに②どうする】	
--	--

目標達成の取組内容(計画) ・「補助金等の見直し指針」の改正 ・種別に応じた評価シートの作成	目標 特徴や性質に合った補助金の分類 実績 <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 60%;"></td> <td style="width: 20%; text-align: center;">目標(%)</td> <td style="width: 20%; text-align: center;">100.0</td> </tr> </table>		目標(%)	100.0
	目標(%)	100.0		
① 平成29年3月末までに	H28 実績(%)及び算出根拠 実施内容及び進捗状況			
② 補助金の分類を行い、種別に応じた評価シートを作成する				

【中間報告】 ■9月末時点	
----------------------	--

実施内容及び進捗状況 <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 60%;"></td> <td style="width: 20%; text-align: center;">目標(%)</td> <td style="width: 20%; text-align: center;">50.0</td> </tr> </table>		目標(%)	50.0	
	目標(%)	50.0		

③P = Plan ■実施スケジュール	
----------------------------	--

目的達成のための具体的な方法	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
特徴や性質に合った補助金の分類	計画		補助金一覧リスト作成	→		補助金見直し指針の改正(確認)	→	補助金の分類	→	種別に応じた評価シートの作成			
	実績												
H29補助金見直しの準備	計画										担当課評価の実施	→	
	実績												
	計画												
	実績												
	計画												
	実績												

実施メニュー	12	継続	使用料等の適正化										
達成状況	-	即効度	◎	難易度	B	担当部署	企画政策課(企画財政部)						
方針の目的	健全な行財政基盤の確立		方針の視点	1 健全行政マネジメント			分類	財政基盤の強化					

①C = Check ■現状の課題を把握	④D = Do ■目標及びそのための取組
-----------------------------	-----------------------------

現状数値(計画策定時) - 使用料等については、「使用料・手数料の設定に関する基本方針」により、サービスコスト・受益者負担割合・利用者区分・減免対象範囲等の見直しを実施しているが、消費税率10%に対応した利用者負担の適正化を図る必要がある。	<table border="1"> <tr> <td style="width: 15%;">目標</td> <td>使用料等の適正な料金設定【継続実施】</td> </tr> <tr> <td>取組内容</td> <td>新料金による継続実施</td> </tr> <tr> <td>課題と今後の取組</td> <td></td> </tr> </table>	目標	使用料等の適正な料金設定【継続実施】	取組内容	新料金による継続実施	課題と今後の取組	
目標	使用料等の適正な料金設定【継続実施】						
取組内容	新料金による継続実施						
課題と今後の取組							

②A = Action ■改善内容を立案【①いつまでに②どうする】	
--	--

目標達成の取組内容(計画)	<ul style="list-style-type: none"> ・原価計算書の構築及び原価計算の実施 ・料金改正に伴う関係条例の一部改正 		目標	使用料等の適正な料金設定		
①	平成29年3月末までに		実績			
②	使用料・手数料の原価計算を行い、関係する条例の一部改正を実施する。		実績(%)及び算出根拠		目標(%)	100.0

【中間報告】 ■9月末時点	
----------------------	--

実施内容及び進捗状況			実績(%)及び算出根拠	
			目標(%)	50.0
			実績(%)及び算出根拠	
			実施内容及び進捗状況	

③P = Plan ■実施スケジュール	
----------------------------	--

目的達成のための具体的な方法	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
原価計算の実施	計画		各課依頼	各課調整									
	実績												
行革本部会・行革懇話会での報告	計画			本部会報告					懇話会報告				
	実績												
条例改正(改正が必要な場合)	計画				各課と調整					議会上程			
	実績												
公表	計画										公表		
	実績												

実施メニュー	13	継続	実質公債費比率・将来負担比率の適正化										
達成状況	-	即効度	◎	難易度	A	担当部署	財政課(企画財政部)						
方針の目的	健全な行財政基盤の確立		方針の視点	1 健全行政マネジメント			決算年度を修正 H28決算 → H29決算		政基盤の強化				

①C = Check ■現状の課題を把握	④D = Do ■目標及びそのための取組
-----------------------------	-----------------------------

現状数値 (計画策定時) 実質公債費比率12.6%(3ヶ年平均)/将来負担比率58.1% ※平成27年度公表(平成26年度決算) 早期健全化基準には達していないものの、県内平均や類似団体と比べ、高い比率となっている。 平成28年4月現在における過去の状況と今後の見込み 平成25年度(決算) 実質公債費比率 14.0%(3か年平均 H23~25) 将来負担比率 66.8% 平成26年度(決算) 実質公債費比率 12.6%(3か年平均 H24~26) 将来負担比率 58.1% (CAPD。! 策定年度) ※実質公債費比率 県内平均 8.7%、類似団体平均 10.4% / 将来負担比率 県内平均 33.4%、類似団体平均 48.6% 平成28年度当初予算状況 市債借入額 1,778,600千円(平成27年度からの繰越分を含まない。) 市債償還額(元金) 1,895,639千円	目標 ・実質公債費比率 12.0% ⇒ 11.5%(H27-29の3か年平均) ・将来負担比率 52.0% ⇒ 47.5%(H29決算) 取組内容 ・市債発行の抑制 ・市債以外の将来負担事業の精査による抑制 課題と今後の取組 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 決算年度を修正 H27決算 → H28決算 </div>
---	---

②A = Action ■改善内容を立案 【①いつまでに②どうする】	③D = Check ■実績及び算出根拠
--	-----------------------------

目標達成の取組内容 (計画) ・市債発行の抑制 ・市債以外の将来負担事業の精査による抑制 ① 平成29年3月末までに ② 市債借入額を市債償還額(元金)を下回るように予算を調整する。(平成27年度からの繰越分を含まない。)	目標 ・実質公債費比率 12.5% ⇒ 12.0%(H26-28の3か年平均) ・将来負担比率 57.0% ⇒ 54.0%(H28決算) 実績 <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 70%;"></td> <td style="width: 10%;">目標(%)</td> <td style="width: 20%; text-align: center;">100.0</td> </tr> </table> 実績(%)及び算出根拠 <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 70%;"></td> <td style="width: 10%;">目標(%)</td> <td style="width: 20%; text-align: center;">50.0</td> </tr> </table>		目標(%)	100.0		目標(%)	50.0
	目標(%)	100.0					
	目標(%)	50.0					

【中間報告】 ■9月末時点	
----------------------	--

実施内容及び進捗状況 実施内容及び進捗状況	実績(%)及び算出根拠 <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 70%;"></td> <td style="width: 10%;">目標(%)</td> <td style="width: 20%; text-align: center;">50.0</td> </tr> </table>		目標(%)	50.0
	目標(%)	50.0		

③P = Plan ■実施スケジュール	
----------------------------	--

目的達成のための具体的な方法	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
平成27年度決算資料作成 平成28年度健全化判断比率算出(平成27年度決算)	計画			決算	監査委員説明	★速報	議会報告		★確報				
	実績												
平成28年度補正予算調整・議会上程	計画		予算調整	議会上程・議決		予算調整	議会上程・議決		予算調整	議会上程・議決		予算調整	議会上程・議決
	実績												
平成29年度健全化判断比率(見込)作成(平成28年度決算見込)	計画					見込み作成							H29予算確定後再算出
	実績												
	計画												
	実績												

実施メニュー	14	新規	公共施設等総合管理計画の推進										
達成状況	-	即効度	○	難易度	S	担当部署	財政課(企画財政部)						
方針の目的	健全な行財政基盤の確立		方針の視点	2 公共施設マネジメント			分類	公有財産の最適管理					

①C = Check ■現状の課題を把握	④D = Do ■目標及びそのための取組
-----------------------------	-----------------------------

現状数値 (計画策定時) - 市所有の公共施設の老朽化が進み、今後一斉に更新時期を迎えることにより、財政面や管理面において課題が生じている。また、人口減少や少子化等による環境の変化、ニーズの多様化などに対応したサービスの提供が求められている。	目標 分野ごとの取組計画(仮称)を作成 H29 取組内容 ・検討組織を立ち上げ、分野ごと協議を行う ・分野ごとの取組内容を決定 課題と今後の取組
---	--

②A = Action ■改善内容を立案 【①いつまでに②どうする】	
--	--

目標達成の取組内容(計画)	公共施設等総合管理計画案の検討、修正						目標	公共施設等総合管理計画の完成					
①	平成29年3月末までに						実績						
②	総務省から要請された「公共施設等総合管理計画」について計画案を策定し、パブリックコメントを実施する。						実績(%)及び算出根拠		目標(%)	100.0			

【中間報告】 ■9月末時点	
----------------------	--

実施内容及び進捗状況	実績(%)及び算出根拠												
		目標(%)	50.0										

③P = Plan ■実施スケジュール	
----------------------------	--

目的達成のための具体的な方法	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
計画策定	計画		-----										
	実績												
市民説明	計画		広報案作成	広報					広報	パブリックコメント			広報
	実績												
庁内検討委員会	計画		★		★			◎					
	実績												
議会説明	計画				説明						説明		
	実績												

実施メニュー	15	新規	公共施設の有効利用										
達成状況	-		即効度	○	難易度	A	担当部署	都市計画課(建設経済部)					
方針の目的	健全な行財政基盤の確立			方針の視点	2 公共施設マネジメント			分類	公有財産の最適管理				

①C = Check ■現状の課題を把握	④D = Do ■目標及びそのための取組
-----------------------------	-----------------------------

現状数値 (計画策定時) 入居件数: 210戸中184戸(空き26戸、入居率87.6%) ※平成26年度末 菊川市営住宅3団地(上本所・長池・赤土)は、平成26年度から空き室が目立ち、施設が有効に活用されていない。今後においても、空き室の増加が懸念される。 注1)平成27年度に市営住宅条例を改正し、平成28年4月1日から市営住宅入居者資格要件を緩和しています。	目標 平成30年3月末現在 入居率 92%以上 取組内容 <空室状況に応じ> ・抽選会(公募)回数の増加 ・上本所団地入居機会拡充(随時公募・抽選会) 課題と今後の取組
--	---

②A = Action ■改善内容を立案 【①いつまでに②どうする】	
--	--

目標達成の取組内容 (計画) ・市営住宅入居者資格要件の緩和 ・抽選会(公募)回数の増加(4回→5回) ・掲載方法等の見直し(市内外へ向けて公募) ・上本所団地入居機会拡充(随時公募・抽選会)	目標 平成29年3月末現在 入居率 90%以上 実績			
① 平成29年3月末までに ② 抽選会を4回から5回にし、入居の機会を増やすことや、空室が目立つ上本所団地については、公募を随時行う。また、広報菊川6月号で特集ページを設け入居促進を行う。	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 70%;"></td> <td style="width: 10%; text-align: center;">目標(%)</td> <td style="width: 20%; text-align: center;">100.0</td> </tr> </table>		目標(%)	100.0
	目標(%)	100.0		

【中間報告】 ■9月末時点	
----------------------	--

実施内容及び進捗状況	実績(%)及び算出根拠			
	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 70%;"></td> <td style="width: 10%; text-align: center;">目標(%)</td> <td style="width: 20%; text-align: center;">50.0</td> </tr> </table>		目標(%)	50.0
	目標(%)	50.0		
実績(%)及び算出根拠				
実施内容及び進捗状況				

③P = Plan ■実施スケジュール	
----------------------------	--

目的達成のための具体的な方法	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
入居抽選会 ※定期の抽選会を4回から5回に増加し入居機会の拡充を図る。	計画	抽選会			抽選会		抽選会		抽選会		抽選会		
	実績												
市内周知(広報菊川) ※広報菊川に特集ページを設け、市営住宅のことや入居募集を図る。	計画			特集 抽選会掲載		抽選会掲載		抽選会掲載		抽選会掲載			抽選会掲載
	実績												
市外周知(ホームページ) ※市ホームページのリニューアルを行い、市営住宅のことや入居募集を図る。	計画	掲載内容 検討	掲載内容 修正・掲載										→
	実績												
上本所団地の入居機会の拡充(空室対策) ※空室が目立つ上本所団地について、一定の空室(5件)までは随時抽選会(公募)を行い入居率の向上を図る。	計画	検討	---	募集 抽選会									→
	実績												

実施メニュー	16	新規	遊休市有地の有効利用										
達成状況	-		即効度	◎	難易度	B	担当部署	財政課(企画財政部)					
方針の目的	健全な行財政基盤の確立			方針の視点	2 公共施設マネジメント			分類	公有財産の最適管理				

①C = Check ■現状の課題を把握 ← **④D = Do** ■目標及びそのための取組

現状数値 (計画策定時)	-										
市内では『公有財産有効利用検討委員会』が設立され、公有財産の有効利用並びに適正な管理及び処分について検討しているが、立地や面積等の条件面により利用方法が決定していない。											
H29											
目標	旧消防署跡地の利用方法を決定										
取組内容	市の発展に寄与する事業者等と交渉を行う										
課題と今後の取組											

②A = Action ■改善内容を立案
【①いつまでに②どうする】

目標達成の取組内容 (計画)	不動産業者への委託により処分を進める										
①	平成28年9月末までに										
②	一般競争入札公告及び入札を実施し、売れ残りがあれば、先着受け付け方式により予定価格での売却を行う。										

【中間報告】 ■9月末時点

実施内容及び進捗状況			実績(%)及び算出根拠								
			目標(%)	70.0							
			実績(%)及び算出根拠								
			目標(%)	100.0							
			実績(%)及び算出根拠								
			実施内容及び進捗状況								

③P = Plan ■実施スケジュール

目的達成のための具体的な方法	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
売却方針案の作成	計画			-----▶		◎							
	実績												
一般競争入札実施	計画					公告	★						
	実績												
先着受け付け開始	計画							—————▶					
	実績												
	計画												
	実績												